

第6章 自然と調和する住みよいまち 第5節 水道

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
経営課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	旧水道庁舎利活用及び検針票広告は、継続して収入を得ることができた。新規に開始した長期的債券運用、未利用地利活用は、いずれも収益をあげ、健全な経営に寄与した。	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	6. 安全な水とトイレを世界中に		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	119,773千円	118,026千円	①債券運用益	収益額	財源として収益を確保することを目標とする。								
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②未利用地地利活用売却益											
	自主財源確保促進事業(長期的債券運用・未利用地活用・旧水道庁舎用地利活用・検針票広告)【水道】	地方公営企業法、地方公共団体の健全化に関する法律 地方自治法第235条の4、地方公営企業法施行令第168条の6 所沢市上下水道局印刷物広告の掲載に関する要綱	6,944千円	6,927千円	③旧水道庁舎用地利活用賃付料	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
		事業の具体的な内容及び目的	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	④検針票広告収益									実績	(④のみ)54千円
		期間	水道事業の資産を有効活用し、自主財源の確保により経営の活性化を図り、企業経営の健全化に努めるものである。 ①長期的債券の購入・運用 ②未利用地の売却・貸付け ③旧水道庁舎用地の貸付け ④検針票を活用し企業等の広告掲載	0.83人	非常勤特別職	実績	R元年度目標	R1実績						目標達成	
				6,955千円	臨時職員	①527千円	10,740千円	17,054千円							
H29~R26		0.62人	非常勤特別職	②6,097千円	R2年度目標										
		5,153千円	臨時職員	③10,320千円											
				④110千円	11,830千円										
窓口サービス課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	口座振替率の実績からは、一定の成果が継続して得られているものと考えられるが、目標値が未達成であった。今後も収納経費の削減に向け事業に取り組んでいく。	R1年度に改善した点	6. 安全な水とトイレを世界中に			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	71千円	71千円	①納入通知書戸数	口座振替率 (口座振替収納件数/収納総件数×100)	口座振替率は2年連続で減少しているが、H29年度には実績値73.51%であるため、引き続き増加を目指す。								
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②口座振替登録戸数											
	口座振替促進事業	地方公営企業法・水道法・所沢市水道事業給水条例	628千円	628千円		H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	74.00%	72.87%	H30年度までの取組により、継続の納付書払い利用者への周知が一巡したためと考えられる。水道使用件数は増加傾向にあり、新規使用者に対して更に効果的な方法で口座振替を促進する必要がある。							
		期間	収納に伴う費用が安価である口座振替への加入を促進し、中長期的に費用の削減を図ることを目的とする。 ①口座振替登録者を対象とした景品抽選の実施 ②各取扱金融機関・公共施設に啓発ポスター・卓上のぼりの設置を依頼 ③検針時の普及活動	0.10人	非常勤特別職	①47,259件	R元年度目標						R1実績		
				838千円	臨時職員	②122,252件	74.00%	72.54%							
H29年度~		0.10人	非常勤特別職		R2年度目標										
		831千円	臨時職員		74.00%										
上下水道局総務課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	R1年度は前年度に比べ実施校が増え、目標校数も達成することができた。また、事務局としても先生役の職員を巻き込んで計画的に取り組み、子供たちが授業に興味を持ってもらえるよう工夫を凝らした。	R1年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	6. 安全な水とトイレを世界中に		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	30千円	7千円	①市内小学校数	出前教室実施校数	小学校学習指導要領では、水道・電気・ガスのいずれか、また、ごみ・下水道のいずれかを選択して取り上げることとされているため、より多くの学校で水道・下水道を学習し、それに役立ててもらおうべく、実施校数を指標とする。目標値は、前年度実績以上とする。								
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②実施校数											
	出前教室実施事業	特になし	30千円	7千円		H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
		事業の具体的な内容及び目的	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	15校	15校	目標達成							
		期間	水道及び下水道の理解を深めてもらうとともに、生活に欠かせない水が限りある資源であることや形を変えながら陸・海・空を循環していること(水の循環)などを知ることにより、水の大切さに気付き、さらには地球の環境保全に対する意識を高めてもらうことを目的とし、市内の小学校に上下水道局職員を派遣し、啓発用パンフレット「所沢の水道と下水道」等を使用して、上下水道に関する授業を行う。	0.61人	非常勤特別職	0.00人	R元年度目標							R1実績	
				5,112千円	臨時職員	0.00人	15校以上	18校							
H28年度~		0.68人	非常勤特別職	0.00人	R2年度目標										
		5,652千円	臨時職員	0.00人	前年度以上										

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
給水管理課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	適正な運用環境の確保等を勘案し、使用期間20年間を目安とし監視制御装置の更新に向け、委託発注し予防保全的維持管理に努めた。	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を 6. 安全な水とトイレを世界中に			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①設計業務委託(東部浄水場監視制御装置)	浄水場監視制御装置の設計業務委託実施か所及び、浄水場監視制御装置の更新工事実施か所	所沢市水道事業中期経営計画に基づき計画的に更新工事を行い、設計業務委託完了及び更新工事完了を指標とする。								
	根拠法令	水道法、水道施設の技術的基準を定める省令	R1予算現額	R1決算額(見込み)			H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析				
	事業の目的及び具体的な内容	所沢市水道事業中期経営計画等に基づき浄水場監視制御装置の更新工事を実施する。令和元年度から令和3年度にかけて、東部浄水場監視制御更新工事を行う。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績										
	期間	H23～	0.00人	非常勤特別職	1か所	1か所	目標達成済								
			0千円	臨時職員											
		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合												
		1.90人	非常勤特別職												
		15,793千円	臨時職員												
給水管理課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	水道施設の基幹施設である第一浄水場浄水池(1槽)の耐震化を行い、災害に強く、安全で安心な配水ができることから、成果を上げている。	R1年度に改善した点	6. 安全な水とトイレを世界中に 11. 住み続けられるまちづくりを			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	51,192千円	39,528千円	①耐震診断(南部RC配水池)	配水池の耐震化率(耐震対策の施された配水池の有効容量÷対象配水池等の有効容量)×100	耐震化を進めることが当該事業の目的となっているため、耐震化率を指標とする。								
	根拠法令	水道法、水道施設の技術的基準を定める省令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	H30年度目標		H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	事業の具体的な内容及び目的	配水池等(13池・総有効水量92,000m ³)の耐震診断を順次行い、その結果に基づき耐震補強設計及び耐震補強工事を実施し、耐震化する。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績										
	期間	H21年度～	4.05人	非常勤特別職	①1池	71.7%	71.7%	目標達成済							
			33,939千円	臨時職員	②1池	71.7%	76.1%								
		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③1槽											
		4.90人	非常勤特別職												
		40,729千円	臨時職員												
経営課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	「読んで得する・知って得する」をコンセプトに発行した広報紙は、わかりやすく上下水道事業を知っていただく契機となった。市のイメージマスコットである「トコロん」の4コマ漫画を掲載したことで、親しみやすい紙面とすることができ、また、多くの利用者から、反響を頂き、積極的な広報活動に理解を得ることができた。	R1年度に改善した点	6. 安全な水とトイレを世界中に 11. 住み続けられるまちづくりを			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①発行回数	広報紙の発行回数	7月発行は、いのちの水を大切に、雨水対策を中心に、12月発行は、決算のお知らせと冬季への備えを中心とした情報を利用者へ提供するため、年に2回の発行を目標とした。								
	根拠法令	-	R1予算現額	R1決算額(見込み)			H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析				
	事業の具体的な内容及び目的	上下水道事業の経営状況や施策事業の取組等に関する幅広い情報について、積極的な広報活動を行うことにより、利用者の理解と協力が得られるように「事業の見える化」に努め、公営企業として経営健全化等を図るものである。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績										
	期間	R1～	0.00人	非常勤特別職	なし	なし	なし	目標達成済							
			0千円	臨時職員	2回	2回	2回								
		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合												
		0.54人	非常勤特別職												
		4,488千円	臨時職員												

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
経営課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	無作為抽出による市民アンケートによって、現状把握や需要など市民ニーズの把握を実施したことで、精度の高い将来予測を試算した。施策事業については、局内で設置した4つのプロジェクトチーム(水需要部門、施設設備部門、管路部門、人・財務部門)で研究を重ね、効率的かつ効果的な投資計画と財政計画を試算した。この結果を踏まえ、上下水道事業運営審議会の審議を経て、基本方針と基本目標、実現方策を具体的に進めることができた。	R1年度に改善した点	6. 安全な水とトイレを世界中に			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	11,470千円	9,720千円	①分析表評価業務の補正	市長の附属機関である上下水道事業運営審議会の審議を踏まえ、計画(案)を作成。2年度は元年度の成果を基に、本計画を策定する。		水道事業の将来像を描き実現に向けた計画として、3年度施行を目的に「水道ビジョン」「経営計画」を策定し、経営基盤の強化を図るもの。目標値としては、2年度の策定をもって達成とする。			平成30年度に作成した分析評価結果を、最新データに基づき更新した。上下水道事業運営審議会との審議に当たり、現場視察を実施した。さらに審議を深めるためにプレーンストリーミング手法を用いて、より多くの意見を出し合う会議型式を用いた。	11. 住み続けられるまちづくりを			
	水道ビジョン策定事業	根拠法令	-	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②水道ビジョン・経営計画の策定 1)市民アンケートの実施 2)運営審議会による審議 3)計画(案)の作成		H30年度目標			H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		事業の具体的な内容及び目的		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析				
		水道事業の将来像を描き、実現に向けた計画として、令和3年度施行を目的に「所沢市水道ビジョン」及び「水道事業経営計画」(以下、「ビジョン等」という。)を策定し、経営基盤の強化を図るものである。平成30年度に実施したアセットマネジメント手法による、水道事業の現状と将来の見通しの分析・評価結果に基づくとともに、上下水道事業運営審議会の審議を踏まえ、ビジョン等の策定に向けて取り組むものである。	1.49人	非常勤特別職	分析・評価		評価済								
			12,486千円	臨時職員	①各数値の更新(決算値、人口データ、施設更新計画等を元年度のものに補正)		R元年度目標	R1実績			目標達成済				
	R1正規職員人件費		R1その他職員従事割合	② 1)一般家庭における水道利用者2,450世帯、民間企業50者を対象に実施 2)市民および有識者で構成する運営審議会で審議。プレーンストリーミング手法による意見出しの実施 3)水道ビジョン:素々案 経営計画:骨子案	水道ビジョン(素々案)経営計画(骨子案)		作成済								
	期間		0.69人	非常勤特別職	R2年度目標										
	H30~R2		5,735千円	臨時職員	計画の策定			経営課長 小池 純一			令和2年度に審議を深める「水道事業経営計画」の策定に当たり、令和3年度から10年間の具体的な施策事業と財政プランを策定するため、「ひと・もの・カネ・情報」を詳細に分析し、上下水道事業運営審議会からの審議やパブリックコメントの実施により、実現性のある計画づくりに取り組む。	安全・安心な水道水を、50年先の市民に提供できる計画づくり	どのように貢献したか		